

### 長谷市川線 交通安全 比延橋側道橋上部工事

兵庫県では交通安全対策の一環として、学校や駅の周辺の歩道の整備を行っています。現道の比延橋は周囲に神河町立神河中学校、神河町立寺前小学校があり、生徒や児童の通学路ですが、この橋側歩道の完成により登下校時の交通安全対策を行うことが出来ました。

鋼材には耐候性鋼材を用いており、安定錆を生成することで塗装が不要となる材料ですが、通行する人の手や体の振れやすい主桁の内側には触れた時に錆で手や服が汚れないように、あえて塗装をする配慮をしています。

架設はクレーンによる一括架設で行いました。架設当日には神前中学校の生徒を招待し、見学会を行いました。見学会の開催にあたっては、発注者の兵庫県の方々と初め、神河町の職員の方々にも協力を頂き、心から感謝するとともに、地域に根差した工事が出来たと感じました。 (熱海 晋)

### 川越北環状線桁架設その他工事

一般県道160号川越北環状線は、埼玉県川越市脇田新町から同市今成を經由し、同市福田へ至る計画総延長5.5kmの県道です。

川越市中心部を取り巻く環状道路計画のうち西半分に相当し、脇田新町で接続する国道16号と併せて半環状道路を構成し、国道254号を介して首都圏中央連絡自動車道（圏央道）川島インターチェンジへ至るアクセス道路としての役割も期待されています。

高架部分は約620mあり、この区間にはJR川越線と東武東上線が存在していますが、本工事はJR川越線を跨ぐ1径間分の鋼桁をそれぞれ手延べ送出し工法にて、JR川越線のき電停止作業時間（140分）の条件の基、最初に左側車線（飯桁）の架設を行い、その後に左側車線で使用していた構台設備及び手延べ等の機材を転用し右側車線（箱桁）の架設を行いました。

JR上空での架設でしたが、工事・計画担当者の努力により安全かつスムーズに施工し、無事竣工を迎える事が出来ました。 (白倉 進)

### 相鉄・東急直通線 西谷駅留置線新設工事

本工事は、相鉄・東急直通線事業のうち、相鉄線 西谷駅の海老名方に引上げ線を整備するもので、相鉄本線と帷子川との交差部に上下線側それぞれ拡幅する形で橋梁を架設する工事でした。事業用地は将来の鉄道施設幅員しがなく、ヤードも生活道路に分断され点在する環境に加えて民有地との離隔が無い場所へ手延機を送出す条件となり、難易度の高い精度管理が要求されました。

架設途中、住宅街から顔を覗かせる手延機は不思議な感覚を覚えました。 (佐々木 智之)

### さくら連絡橋新設工事

当工事は、東北の桜の名所である船岡城址公園と白石川堤遊歩道がJR及び県道により分断されており、回遊性向上の為に計画された事業で、中央付近の踊り場とらせん階段が特徴の連絡歩道橋です。

県道上が自治体である柴田町、JR跨線部を東日本旅客鉄道の委託工事として発注され、架設工法は、道路と鉄道に挟まれた狭隘なヤード環境でしたが、大型重機でのブロック架設を採用しています。

桜の時期には大勢の利用客の姿が報告されており、地域の活性化に効果をもたらしています。 (佐々木 智之)

## グラビア写真説明

### おおさか東線 寝屋川橋梁

本工事は、西日本旅客鉄道の鉄道路線片町線の貨物支線である城東貨物線を改良して旅客営業を行う、おおさか東線の内鴨野駅、放出駅間を流れる寝屋川上空の架橋工事を行うものである。第三セクター会社の大阪外環状鉄道が第三種鉄道事業者として路線の建設を行っている。開業は2018年度末の予定になっており、現在全線に渡って工事が実施されている。

現在は片町線トラス桁（T1トラス）暫定架設位置から所定位置までの横取り、現片町上下線旧桁撤去を完了している。

今後本工事においては、2017年6月よりおおさか東線トラス桁（T2トラス）の架設工事と進捗していく。

（牧本 健一）

### 拝島駅構内 武蔵野橋架替

当工事は、一般国道16号線拡幅の事業の一環でJR青梅線他6線との交差部である武蔵野橋を対面の4車線から上下線の6車線に架替を行う工事のうち、既設橋梁を撤去する工事を行いました。PC桁を分割でブロック撤去する為、線路を横断する方向に切断する必要があり、切断水を線路上へ落とさない為の設備の設置が命題となりました。長期に渡る軌道内工事を無事故で完了出来た背景には、当社の綿密な施工計画の立案と高い安全意識が色濃く現れた現場であったと感じました。

（佐々木 智之）

### ターミナル前面高架橋他耐震補強工事

本工事は、成田国際空港内の道路橋（10号橋・8号橋・Fランプ橋）及び鉄道トンネルの耐震補強工事である。

主な工種は、鋼床版箱桁及び鋼製橋脚内部へのリブ材増設や落橋防止設置による耐震補強、鉄道トンネル上部躯体のコンクリート増厚による耐震性向上である。

桁及び橋脚内部の補強においては、狭隘な空間での施工であり、品質管理・出来形管理には非常に苦慮したが、発注者から高評価を得ることが出来た。

また、本工事は営業中の国際空港内での施工であるため、国内外の空港利用客に十分配慮し、徹底した安全管理を実施した。その結果、無事故無災害にて完工し、成田国際空港安全協議会より安全表彰を受賞している。

（依田 道拓）

### 高崎市新体育館建設工事

都市集客施設整備の一環として、高崎駅西口に国際級の規模を誇る新スポーツ施設として新設。

用途はバスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球・体操・新体操他。当社はメインアリーナ屋根鉄骨（59m×91m）を建方施工。

高崎駅を起点とした、JR高崎線と上信電鉄線に挟まれた敷地に建設する為、鉄骨建方もメインアリーナ内の狭隘なヤードで施工。

スパン59m、高さ4mのトラスを全11面架設。トラス1面あたりを4分割、ベント3基にて仮受け。

高さ19mのベントを計35基設置。小断面部材が多く形状調整や、急勾配部での足場設置が困難な現場であった。上越新幹線からも特異な屋根形状見える、高崎市のシンボリックな建物である。

（高野 敦）